



資料編

1 定着引継シート

○ 学習内容を児童生徒が着実に積み上げていくには、各学年における定着の状況が確実に引き継がれるとともに、小・中学校9年間を通して学習内容の定着の状況が整理され指導に活かされる仕組みが必要です。この「定着引継シート」は、そのような考え方により、小・中学校9年間を通して一人一人の児童生徒について定着実現状況を引き継いでいくための工夫の一つです。

○ このシートでは、各学年における主要な学習要素を取り出し、各学年末に担任等が定着状況を判断して記入します。未定着なものについては、次の学年において個別指導等で定着を図ります。その上で、学年末に定着状況を再度判断し記入するようにします。

このように一人一人の定着状況を引き継ぎ、未定着の内容については個別指導等を行いながら、中学校修了時点では、すべての項目に定着がチェックされていることを目指します。

各学年の主な学習内容や単元などをピックアップし、小学校6年間または小・中学校を通して記載しておきます。

小学校4年や中学校1年などの節目となる学年では、府学力診断テスト等により年度当初にも定着状況を確認しておくことで「ふりかえり学習」に活用できます。

内容	小1年	小2年	小3年	小4年		小5年	小6年	中1年		中2
				診断テスト	学年末			診断テスト	学年末	
数の合成分解	○									
整数の加減	○									
ものの位置の表し方	○									
量の大きさの比較		○								
かけ算の意味		○								
簡単な表やグラフ		○								
量の単位と測定(長さ・かさ)										
基本的な図形概念		○								
整数の除法										
未知の数量を□で表す										

各学年末に、担任等が各項目の定着の状況を確認し、定着しているものと不十分・未定着なものを○・無記入、あるいはA・B・Cなどで記載します。

小学校1年末に未定着なものでも小学校2年末で定着が見られれば、小2年の欄に○等でチェックします。

小学校1年の学習内容が未定着だったものは、次学年以降でも指導し、学年末で定着状況を記入します。

2 つまずき把握シート

○ これも前ページの「定着把握シート」と同様の考え方に基づいて工夫されたシートです。各学年での主要な学習要素を整理し、一覧にまとめています。定着していればチェックし、定着できていなければそのままにします。このシートが次の学年に送られることにより、単元指導や授業の構想、個別指導等の計画に活かすことができます。

○ このシートは、児童生徒が補習補充の学習に取り組む際にも活用できます。学年末の復習などでこのようなシートを配付し、「わかった」「できる」と児童生徒自身が判断して該当項目に色を塗るなど、定着状況を自ら視覚化します。児童生徒にとって「速くやる」「たくさんやる」ことが目標になりがちなプリント学習では、特に効果的です。

また、友達に教えてもらってわかるようになった場合は色を変えて塗らせるなどの工夫により、教え合いも進めることができます。

つまずき把握シート

学年	数と計算	量と測定	図形	数量関係
2年	くり上がり・くり下がりのたし算・ひき算ができる	mm、cm、mの長さのいみがわかり、はかることができる	まる、さんかく、しかくをくべつすることができる	たし算やひき算のしきをつくることができる
	たし算とひき算のひっ算ができる	mL、dL、Lのかさのいみがわかり、はかることができる	三角形・四角形のいみが理かいてできる	かけ算のしきをつくることができる
	九九ができる	時間(日、時、分)のいみがわかり、時計などから読みとることができる	正方形・長方形・直角三角形のいみが理かいてできる	かんたんなひょうやグラフがよみとれる
	かんたんな2い数と1い数のかけ算ができる	日、時、分のかんけいがわかる	はこの形をしたものについて知ることができる	かんたんなひょうやグラフをつくることができる
3年	大きい数のひっ算ができる	km、g、kgの意味がわかり、はかることができる	二等へん三角形・正三角形について理かいてできる	わり算の式をつくることができる
	(2・3い数)×(1・2い数)のひっ算ができる	長さや重さについて、およその見当をつけることができる	角について知ることができる	□を用いて式に表したり、□に数をあてはめることができる
	わり算の計算ができる(あまりのあるものをふくむ)	時間(秒)の意味がわかり、時計などから読み取ることができる	円や球の意味が理かいてできる	表やグラフをつくることことができる
	小数のたし算・ひき算ができる	生活の中でひつような時こくや時間をもとめることができる	円や球の中心・半けい・直けいが理かいてできる	ぼうグラフを読んだり書いたりすることができる

3 座 標

(1) 設定の理由

平面図形の指導の主なねらいは、図形の意味や性質を理解させ、ものの形を認めたり、形の特徴を捉えたり、図形の性質を見つけたりすることなど図形についての感覚を豊かにすることにあります。取り扱う図形は三角形や四角形が主で、一般的な形から段階的に特殊な形を指導することを通して、図形を構成する要素に着目させながら図形についての感覚を養っていきます。本学習は、空間の性質をつかませることをねらいとし、児童の図形についての理解を補うものと位置付けます。この平面空間の性質は、「方眼」を使うことで効果的に捉えることができます。

方眼を使って空間を捉えることの利点は、次のように整理できます。

① 空間を量的に把握することができる。

果てしなく広がり、他と区別する何の手がかりもない平面に、方眼をかぶせ、原点を決めることで、任意の点の位置を二つの数の組「例（5，3）」のように表すことができる。この座標の考え方は、中学校での関数につながる。

② 形が捉えやすくなる。

直線図形であれば、座標を用いてそれぞれの点の位置をおさえれば、三角形でも四角形でも、もっと複合された形でも、それと全く同じものを容易にかくことができる。低学年の色板ならべや高学年での合同な図形や拡大図・縮図など、方眼を使って図形を捉える学習の基盤となる。

③ 平面図形の基本概念（直線、方向、平行など）を捉えやすくなる。

ある点Aから、右へ2、上へ1進んだ点を結んだ線分の向きを「（2，1）の方向」ということにすれば、これは、他の任意の点Bから、右へ2、上へ1進んだ点を結んだ線分の向きも「（2，1）の方向」といえる。2つの線分の「方向」が同じであるということから平行を捉えたり、1つの点から方向を変えずに進むと直線になるということ捉えたりすることができる。

④ 面積の等積変形や倍積変形が捉えやすくなる。

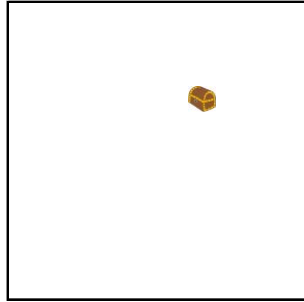
平行四辺形の求積	…	底辺×高さ
三角形の求積	…	底辺×高さ÷2
台形の求積	…	(上底+下底)×高さ÷2
ひし形の求積	…	対角線×対角線÷2

これらの求積公式はすべて、方眼を用いて等積変形や倍積変形をしながら導き出される。

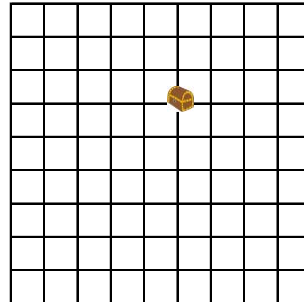
(2) 指導

ア 座標の理解

①「宝はどこにあると言えるでしょうか？」②「これで、宝のありかを説明できるかな？」



1 方眼の必要に気付かせる。

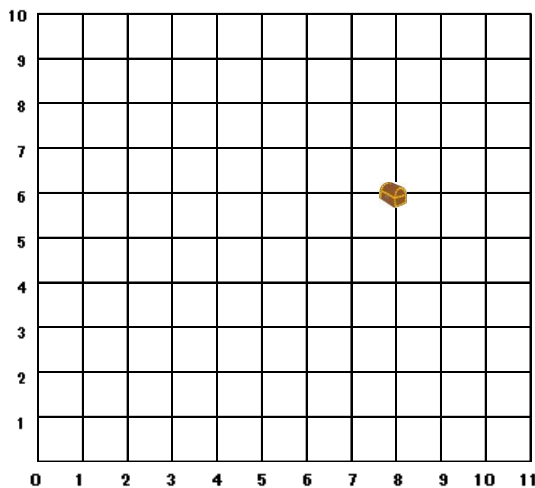


2 方向の言い方を指導する。

「右に3、下に4」、「右に5、下に3」

3 原点の必要に気付かせる。

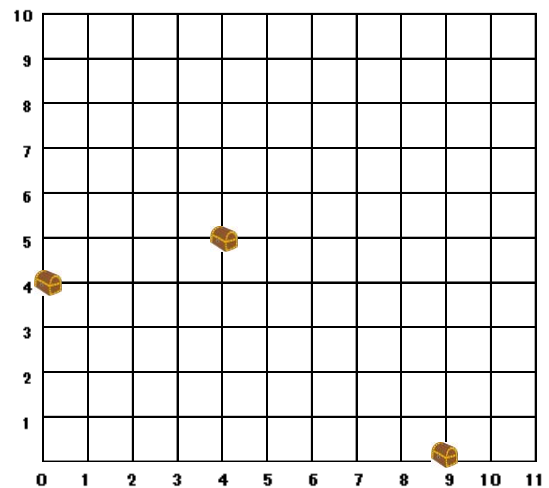
③「これでどう？」



4 点の位置の表し方を指導する。

「右に8、上に6」→ (8, 6)

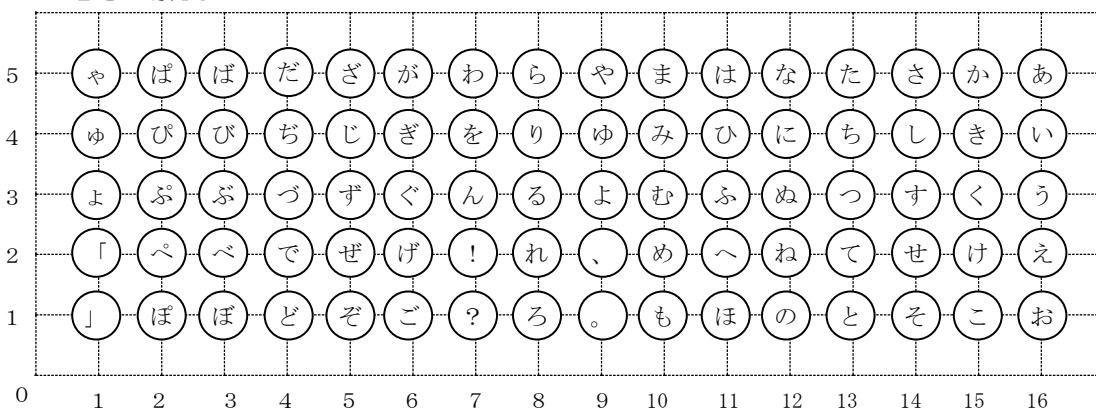
④「他にも宝があるんだって。探せるかな？」



5 点の対応を指導する。

(0, 4)、(4, 5) …

イ 暗号の解読



(例) A (9, 3)、(12, 2)、(7, 3)、(14, 2)、(16, 4)、(12, 1)、(12, 4)、
(7, 3) (5, 3)、(16, 3)、(11, 5)、(7, 1)

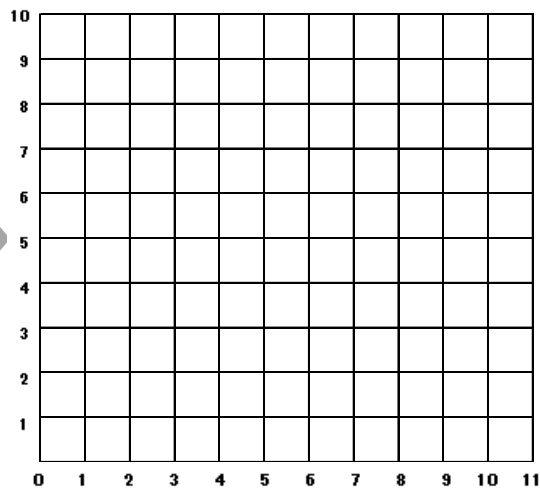
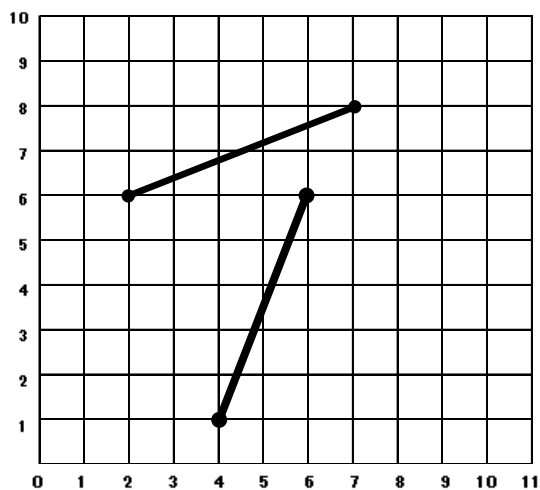
B (12, 4)、(5, 4)、(1, 4)、(16, 3)、(11, 5)、(13, 4)

A よ、ね、ん、せ、い、の、に、ん、ず、う、は、?、 B に、じ、ゆ、う、は、ち

ウ 対応

① 線の対応

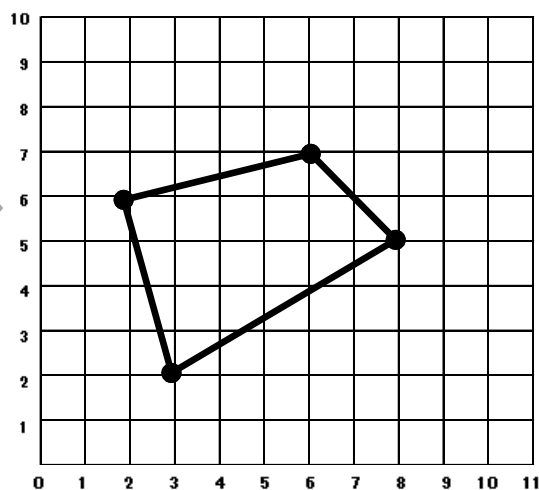
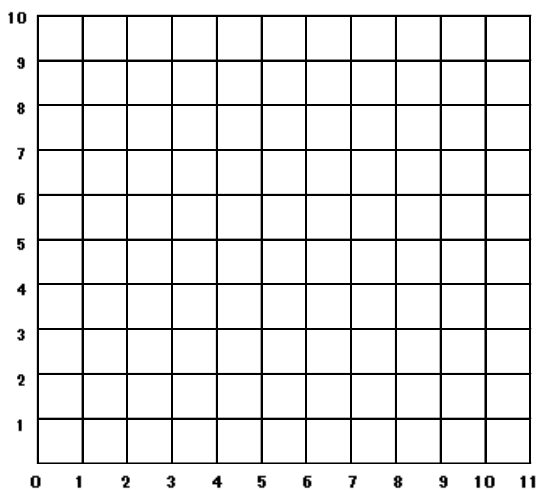
問題 同じ線を同じ位置にかいてみよう。



② 点の対応と図形

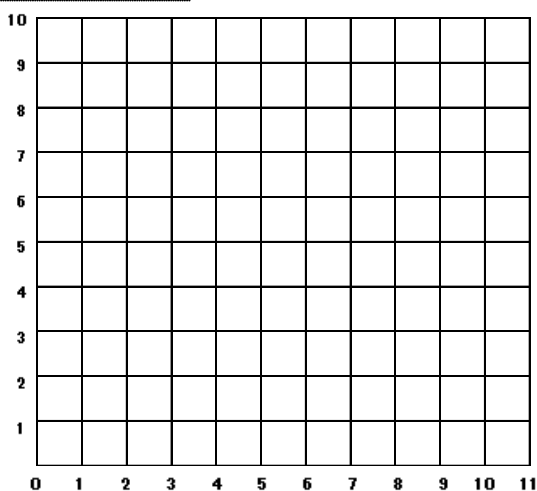
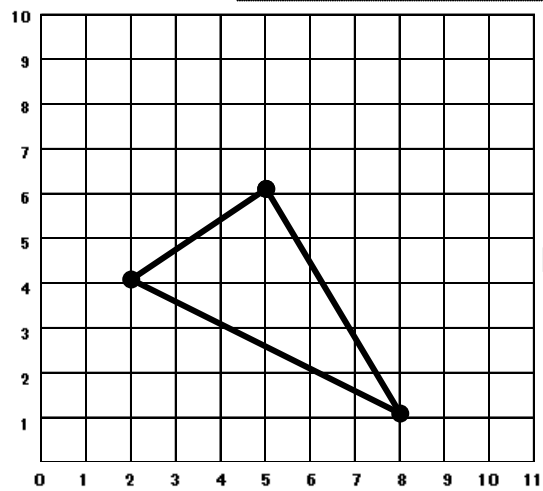
問題 同じ線を同じ位置にかいてみよう。

$(3, 2) \rightarrow (8, 5) \rightarrow (6, 7) \rightarrow (2, 6)$



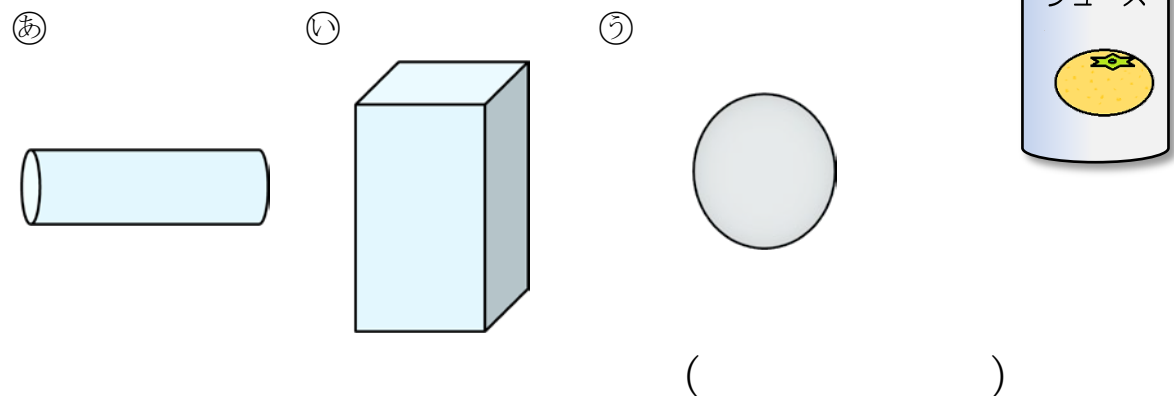
③ 図形の対応

問題 同じ図形を同じ位置にかいてみよう。



図形	丸、三角、四角のことが 理かいてできる	年 組 番
----	------------------------	-------

1 右のかんと同じ形はどれですか。



2 絵を見て答えましょう。

(1) 丸は何こありますか。

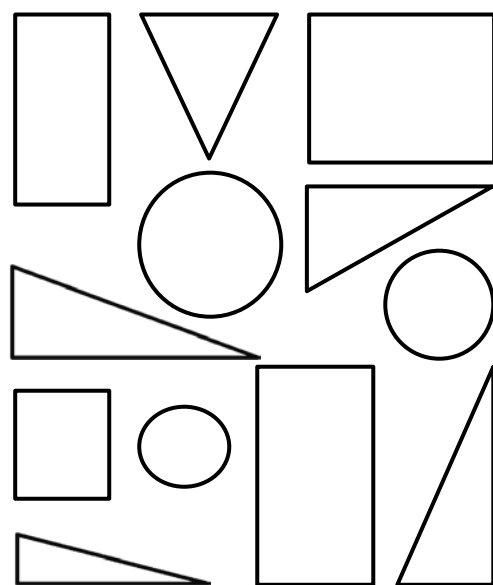
()

(2) 三角は何こありますか。

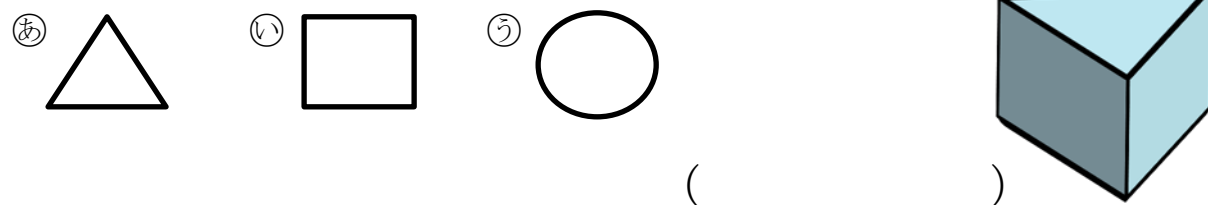
()

(3) 四角は何こありますか。

()



3 右の積み木を使って書ける形を、全部、答えましょう。



図形	円や球の意味を理かいてできる。 (中心・半径・直径)	年 組 番
----	-------------------------------	-------

1 右の図を見て答えましょう。

(1) 右の図のような丸い形を

() といいます。

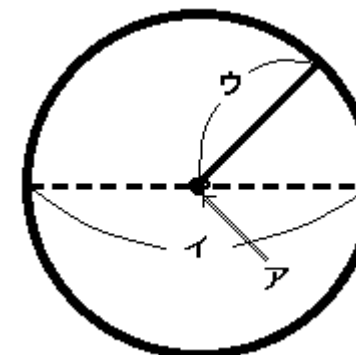
(2) アの点、イ、ウの直線は

それぞれ何というでしょう。

ア () イ () ウ ()

(3) ウの長さはイの長さの () 倍です。

(4) ボールのような丸い形を () といいます。



2 次の形を書きましょう。

(1) 半径 3 cm の円

(2) 直径 4 cm の円

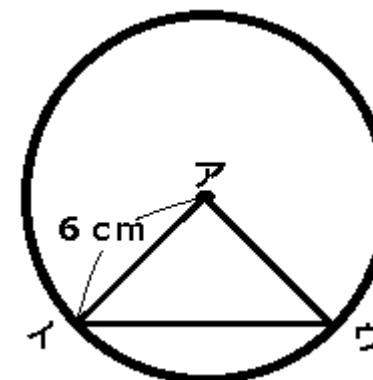
3 右の図の点アは、円の中心です。

(1) 円の直径は、何 cm ですか。

()

(2) 三角形アイウの周りの長さが 19 cm のとき、イウは何 cm ですか。

()



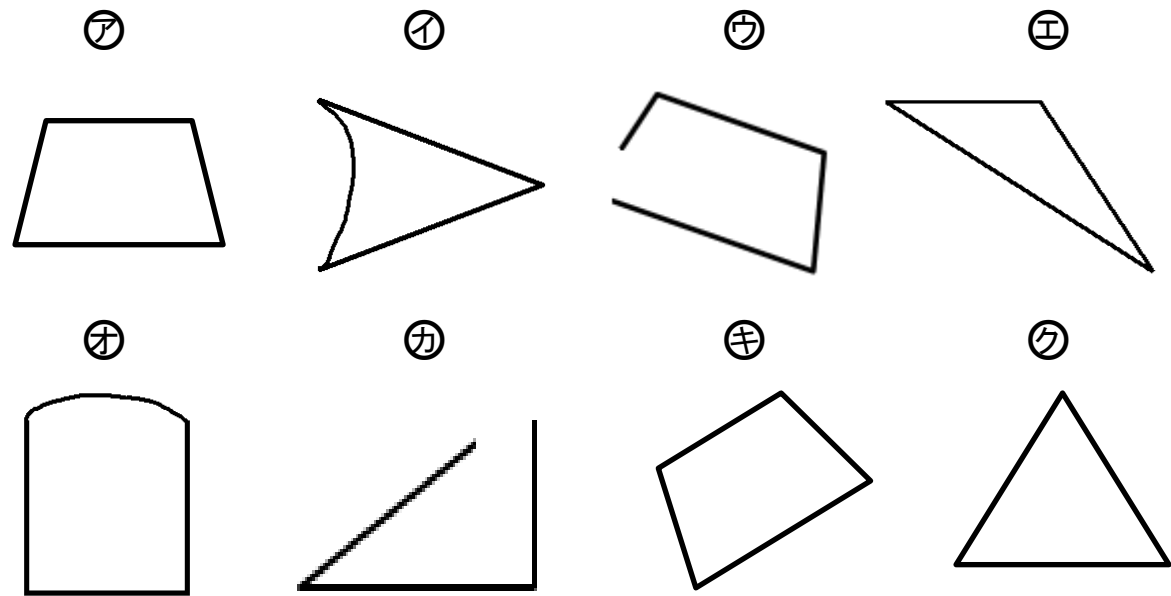
図形	三角形・四角形の意味を理解できる。(弁別・かく)	年 組 番
----	--------------------------	-------

図形	二等辺三角形・正三角形と三角形の角について理解できる。	年 組 番
----	-----------------------------	-------

1 () にあてはまる言葉を書きましょう。

- (1) 3本の直線で囲まれている形を () といいます。
- (2) 4本の直線で囲まれている形を () といいます。
- (3) 4つの角が、みんな直角になっている四角形を () といいます。
- (4) 4つの角が、みんな直角で、4つの辺の長さがみな同じになっている四角形を () といいます。
- (5) 1つの角が直角になっている三角形を () といいます。

2 ㉠ から ㉧ までの形の中から三角形と四角形を選びましょう。

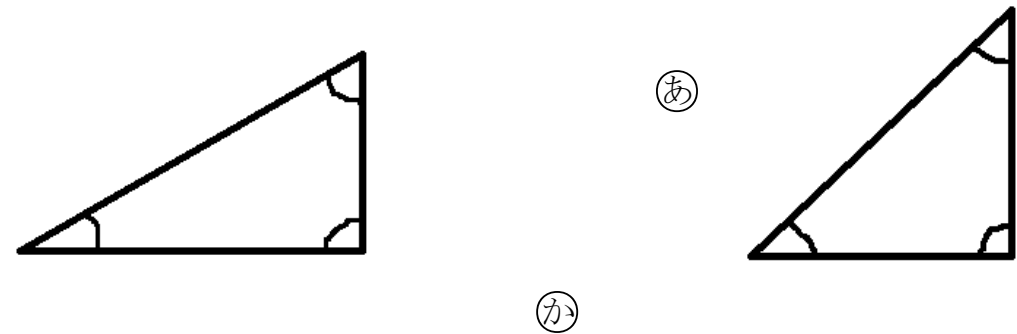


三角形 () 四角形 ()

1 () にあてはまる言葉を書きましょう。

- (1) 2つの辺の長さが等しい三角形を () といいます。
- (2) 3つの辺の長さがみんな同じ三角形を () といいます。

2 次の図は1組の三角じょうぎです。



㉠ ㉡ ㉢ ㉣

- (1) 一番小さい角はどれですか。 ()
- (2) 一番大きい角はどれですか。 ()
- (3) 大きさの等しい2つの角はどれとどれですか。2組答えましょう。
() と () () と ()

3 次の三角形をじょうぎとコンパスを使って書きましょう。

- (1) 辺の長さ5cm、5cm、3cmの二等辺三角形
- (2) 1辺の長さが4cmの正三角形

数量関係	表やグラフについて理かいます。 (読んだり書いたりする。)	年 組 番
------	----------------------------------	-------

野菜の数

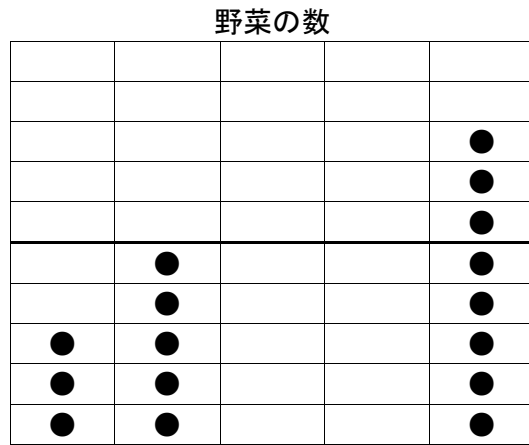
名前	きゅうり	きゃべつ	にんじん	ねぎ	じゃがいも
数	3	㊦	6	2	㊧

1 表の ㊦と ㊧にあてはまる

数はいくつですか。

㊦ ()

㊧ ()



きゅうり きゃべつ にんじん ねぎ じゃがいも

2 にんじんとねぎの数をグラフに

書きましょう。

3 一番多い野菜は何ですか。

()

4 一番少ない野菜は何ですか。

()

5 にんじんとじゃがいもの数のちがいはいくつですか。

()

数量関係	ぼうグラフについて理かいます。 (読んだり書いたりする。)	年 組 番
------	----------------------------------	-------

1 右のぼうグラフは、学年で好きな果物に

ついてしらべたものです。

(1) たての1めもりは、何人ですか。

() 人

(2) 一番多い果物は何で、何人ですか。

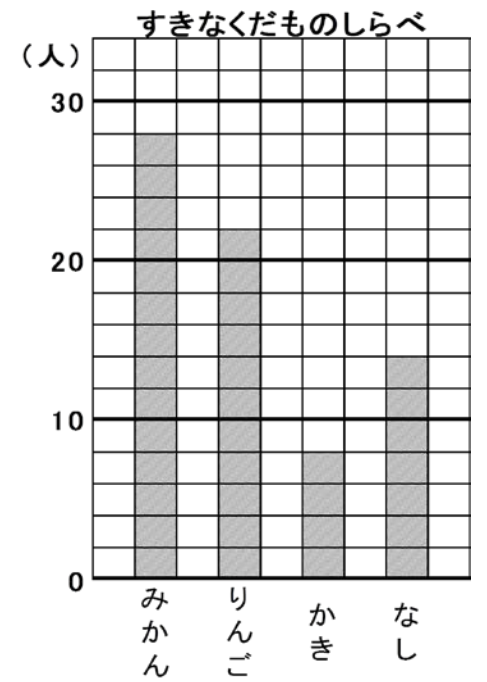
果物 ()

何人 () 人

(3) 一番少ない果物は何で、何人ですか。

果物 ()

何人 () 人



2 下の表をぼうグラフに

書きましょう。

ペット調べ

種類	かっている人(人)
犬	16
ねこ	13
ハムスター	9
小鳥	4

